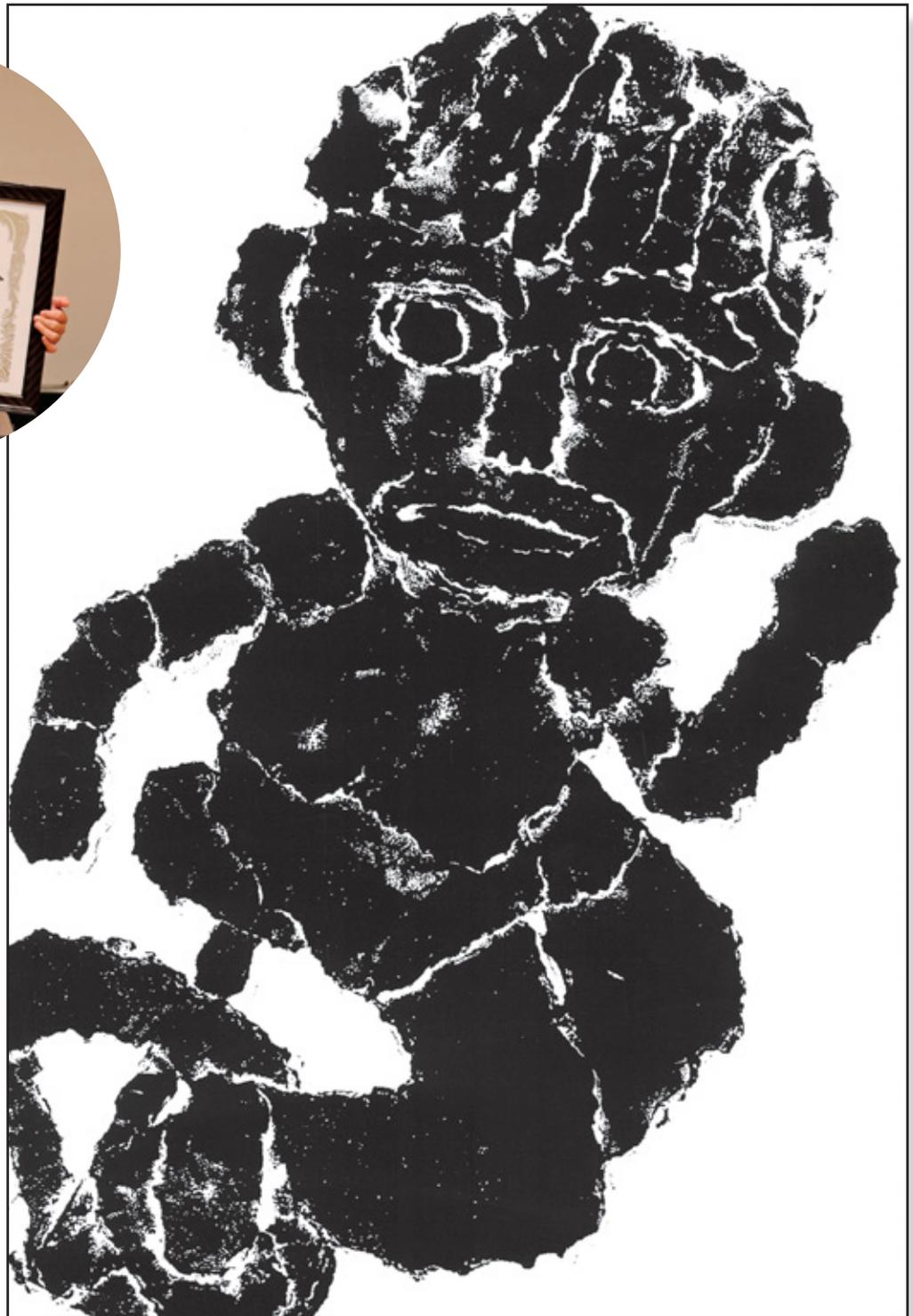




受賞者
真室川北部小2年
栗田紅音さん



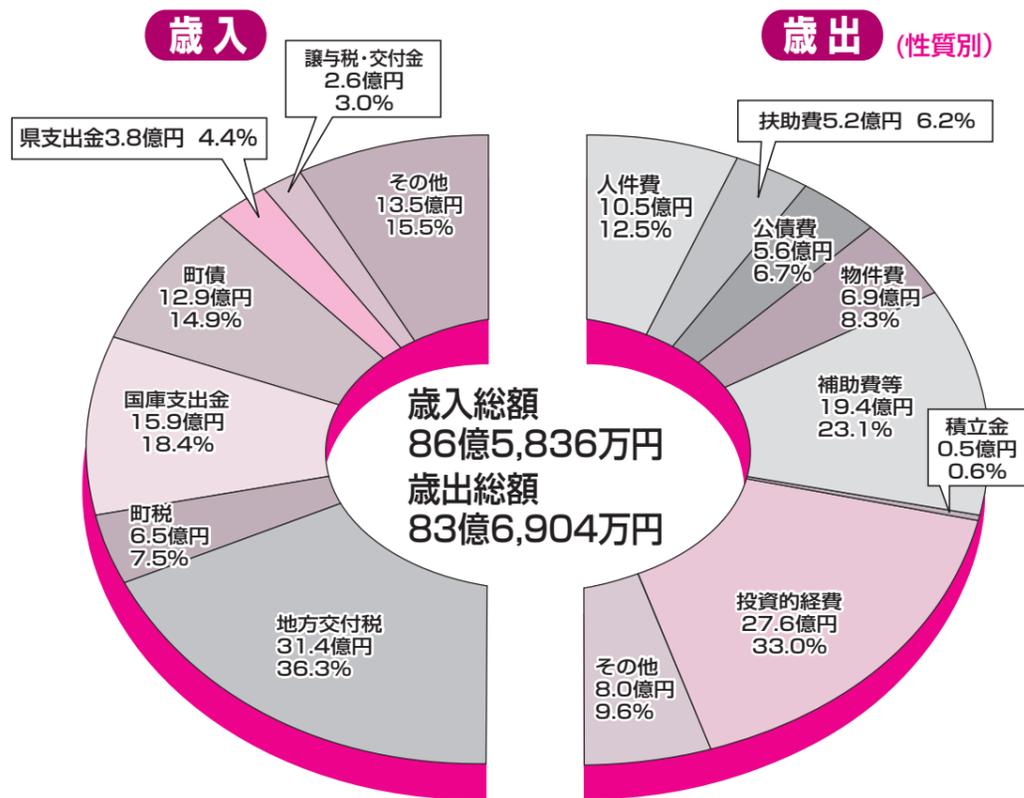
第37回山形県児童生徒版画作品展
“中川木鈴賞” ～一輪車とわたし～

過去の最大の大型決算（決算審査）	2
新たな過疎計画を策定（議案審議）	4
一般質問（5人登壇）	6
町政の執行状況を調査（所管事務調査）	10
みなんで議会傍聴（真室川中学校3年生）	12
初の議会中継を終えて	14

過去最大の大型決算

役場新庁舎建設・新型コロナウイルス感染症に対応

一般会計の構成



決算審査特別委員長意見(要旨)



決算審査特別委員長 佐藤 正

■一般会計
令和2年度は役場庁舎建設及び新型コロナウイルス感染症対策等によってこれまで最大の大型決算となった。今後、町債償還を計画通りに進め、新型コロナウイルス感染症の早期終息によって、通常の財政運営に戻ることを期待する。

●町税の未収金対策等
に、コロナ禍により訪問徴収を控えざるを得なかったことで徴収率が若干下がったが、不納欠損額は減少させており、取組みの努力がうかがえる。
「ふるさと納税」は、実績ある事業者を委託してポータルサイトを2つに増やし、大幅な増額となった。生産者との関わりも深く、町独自の返礼品を工夫し、引き続き当町の寄附増加に向け努力されるよう望む。

(歳出)
・農林業に対する各種補助制度をより一層活用できるように、支援策の周知に努められた。
・教育関係では、英語検定補助事業や公営塾等が、子どもたちの学力向上に顕著な効果を挙げ、他の諸施策と併せ引き続き推進された。中央公民館の蔵書充実と図書貸し出しシステムを軌道に乗せ、町民の期待に応えるよう望む。

■特別会計
・町立病院事業会計は、医師確保で改善があったが、引き続き努力が必要である。新型コロナウイルス感染症により不自由な経営が続くが、安定経営に引き続き努力されるよう望む。
・梅里苑特別会計は、施設運営を指定管理者制度へ移行した初年度として取組みが期待されたが、新型コロナウイルス感染症により施設利用者数が大幅に減少した。一日も早い感染症の終息を願い、新たな取組みを推進できよう期待する。

質疑のあれこれ

一般会計

町税・上下水道等コンビニ収納導入事業
姉崎園子委員 感染力リスク低減と利便性向上を図るとあるが、町民からの声はどうだったのか。
町民課長 令和3年度のコビニエンスストアでの納付が多くみられるので町民の方々の利便性は叶っていると考える。

町税収納対策
平野勝澄委員 どのような収納対策を行ったか。またその際、生存権保障の観点から気を付けたことは。
町民課長 各課横断的に協力して取り組んでいる。納税相談、電話での催告、債権の差し押さえなどできる限り

取り組んだ。滞納処分をするので生活を困窮させるような場合は、処分を停止している。
森林環境譲与税
小松健弥委員 歳入が前年度比で大幅にアップしているが要因は。

また、災害防止などで計画されている具体的な取組みはあるか。
農林課長 森林の災害防止、国土保全機能を早急に強化する観点から前年度比で倍以上に増額している。令和6年度からは新たに森林

環境税となり、5千万円強の財源となる見込み。今後も人工林の材積調査などで活用するほか、設備などは、国や県に要望して保全していく。

ふるさと納税寄付金

小松健弥委員 返礼品で米が多く取り扱われているが、そのパッケージは真室川町産であることが分かりにくい。今後、改善の計画はあるのか。
企画課長 昨年末までは取引先の関係で産地の表示ができない状況があったが、今年度から一部改善を図っている。

地域協働道づくり助成事業
舟生源氏委員 本事業は、申し込めばどの地域でも取組み可能なのか。
建設課長 地域内において、地域住民が協力して愛着を持って町道



協働の道づくり作業

子どもたちの挑戦意欲が高まっている。

中央公民館図書貸出システム導入事業
姉崎園子委員 パソコンや携帯電話から、図書の貸し出し、蔵書検索、予約ができるシステムが導入されたことにより、貸出率はどうのようになっているか。

教育課長 登録者、貸出冊数も伸びている。図書環境の整備等に力を入れ、魅力ある図書館作りを考えて、まちなか図書館構想を進めている。

公営塾運営費
高橋秀則委員 公営塾を開設して、教育委員会としてどのような感想か。
教育課長 成果を見るには5年間やらせていただく、そこでひとまず評価したい。まだ実質2年半なので評価は難しいところがあるが、

交通安全対策費

小松正弘委員 道路の白線は計画的に引けないか。
町民課長 年に一度新庄警察署、最上総合支

庁、町の関係課が合同で「通学路点検」を実施し、危険箇所について関係機関に早期対策を要望している。

まわる川温泉梅里苑事業特別会計

小松健弥委員 指定管理者制度へ移行後、コロナ禍で経営状況が非常に厳しいが、新たな経営改善計画はあるか。
企画課長 指定管理者制度がこれから始まるという矢先に新型コロナウイルス感染症拡大が始まり、思うように経営ができなかった。コンサルティング会社のアドバイスを監査を受け経営改善に取り組んできた。カフェやラーメン専門の食堂、券売機の導入、冬には巨大なまくらやすべり台設置などの取組みを行ってきた。今後も新たな取組みを指定管理者と相談しながら進めていく。

令和2年度 各会計歳入歳出決算状況 (単位:円)

会計	区分	歳入額	歳出額
一般会計		8,658,359,247	8,369,041,144
特別会計	国民健康保険	83,313,403	82,730,750
	後期高齢者医療	96,755,879	96,401,684
	介護保険	1,126,681,831	1,114,784,018
	病院事業	1,060,602,199	1,056,972,393
	水道事業	324,042,011	321,957,594
	公共下水道事業	114,000,869	113,188,542
	梅里苑事業	68,488,221	63,194,584
合計		11,532,243,660	11,218,270,709

9月定例会

9月定例会は、9日から15日までの7日間の会期で開かれ、町財政健全化比率の報告、過疎計画の策定、条例制定、各会計補正予算など町長提出案件7議案、令和2年度各種会計決算、人権擁護委員の推薦、議員発議3件を慎重に審議し、それぞれ原案のとおり可決されました。

新たな過疎計画を策定

今後5年間にわたり格差解消の事業を推進

◆**町過疎地域持続的発展計画の策定** 計画の中に「定住・移住の取り組みも行っているが、雇用促進や住宅不足の解消など環境整備を図る必要がある」とあるが、産業の振興・雇用促進・移住促進を図るには、もう少し具体的な表現が必要ではないか。

◆**企画課長** 住宅・空き家対策、商工業振興により、産業の振興と雇用促進を図るための産業振興事業を新たに追記している。
◆**佐藤正議員** 人口減が危惧されている中、町単独で企業誘致などの施策に力を入れるべきと思うが町長の考えは、町長 町総合計画に則って取り組みを実施していくが、企業誘致については、最上地域の企業誘致の状況を見ると交通の便が良い場所が多く、真室川町にとっては厳しい条件である。なるべく本町にマッチした企業の誘致を今後DX構想なども踏まえ新しい企業形態について積極的にとらえ慎重に検討していく。
民間、国、県、市町村が一体となって基本的な環境をまずは構築し、デジタル化を利用して中での企業誘致に取組んでいく。

主な歳出項目	補正額
畑野揚水機場電気設備修繕事業	3,800万円
光ケーブル移設費	1,647万円
灯油購入助成事業	241万円
新型コロナウイルス感染症対策費	208万円
危険老朽空き家解体事業費補助金	125万円

◆**一般会計補正予算** 工業団地や新庄最上地域で真室川町民を正社員として雇用した場合の雇用奨励金は、企業誘致検討と両にらみで対策を実施していく。
※DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、デジタル技術で、生活をより良く変革していくという概念のこと。



畑野揚水機場

◆**畑野揚水機場電気設備修繕工事** 菅原道雄議員 栗谷沢から小川内に抜ける道路沿線にある圃場の揚水機工事か。これまで、地元負担が多く断念しているというが、この制度は初めてできたものなのか。
◆**農林課長** 畑野揚水機場事業費補助金である。
◆**町長** 元々は石油の高騰のため一時的なものとしてスタートしたが、下がる傾向は一向に見えず、また、消費税を上げて社会保険に回すという恩恵が所得の少ない方には回ってき

灯油購入助成事業

◆**平野勝澄議員** 来年度から当初予算に計上する方向だそうだが、改めて考え方を

事業費が高額になれば負担も大きくなるが、揚水機場組合の皆さんの強い決意があり、町でも補助事業として協力していく考えに至った。

令和3年度
ま真室川町
灯油購入助成券
1,000円券
(ご使用方法)
町内の給油店で灯油を購入する際にこの券を給油店にお出し下さい。
※ 町外の給油店では使えません。
※ 灯油購入以外には使えません。
※ 1,000円未満の購入には使用できません。

有効期間
令和4年3月31日まで
№1-1

いないのではないかと実感、年金も実質的に目減りをしている状況から、総合的に、所得の少ない方々への一つの支援として目的を軌道修正し、これからは当初予算で措置することにした。

危険老朽空き家解体事業費補助金

◆**佐藤正議員** 空き家対策は町の美観にも関わり、また空き家を放置すれば危険箇所となり得るため、早めの対応が重要である。危険老朽空き家解体事業費補助金等について町民への周知方法は、
◆**町民課長** 年度当初の

広報等により事前調査申し込みをして頂くように周知をしている。今後継続する。
◆**高橋秀則議員** 不足となったため補正とのことだが、その内容は、町内外の業者で差額がある。町外業者に委せざるを得ないケースもある。今後そのような格差をつけていく考えか。
◆**町民課長** 町内業者を利用した場合は住宅75万円、町外業者だと50万円、付属屋は町内業者30万円、町外業者20万円を補助している。当初予算は4件分を計上していた。事前調査の申し出が住宅6件、



付属屋3件で、調査の結果、該当になった。現時点で補助金の申請があった住宅3件、付属屋2件で交付を決定している。今後住宅3件、付属屋2件の申請が見込まれることから、補正予算を上程した。
◆**町長** 町内外の業者で差をつけているというより、町内業者を優先していると考えていた。支援、町内経済の活発化のため、議会でも賛同していた。だいてると理解している。

◆病院会計補正予算

◆**病院設備整備費** 小松健弥議員 病院設備整備費の工事請負費で不用額が3757千円となっているが、内容は。
◆**病院事務長** 今年度病棟部門とレントゲン部門のエアコンの更新工事を行った。入札結果の請け差があり減額とした。

◆(その他の議案)

- ◆**町財政健全化判断比率の報告**
 - ◆**過疎地域固定資産税課税免除条例**
 - ◆**字の区域の変更**
 - ◆**介護保険特別会計補正予算**
 - ◆**人権擁護委員の推薦**
 - ◆**議員発議3件**
- ※P9に関連記事

町政を問う

「一般質問」とは

行政全般にわたり、町当局に対して事務の執行状況や将来における政策方針について、議員個人が問いただすものです。

(●印は要約して掲載しています)

1. **平野 勝澄 議員** P 6
●森林鉄道遺構の保存活用を
2. **姉崎 園子 議員** P 6
●誰もが安心して利用できる公共交通網の整備について
3. **小松 健弥 議員** P 6
●第6次総合計画における農業振興の推進状況と課題について
4. **舟生 源氏 議員** P 8
●交流人口の更なる拡大について
5. **佐藤 正 議員** P 8
●新田町政2期目への決意は

森林鉄道遺構の保存活用を

町長

誘客につなげることは困難



平野 勝澄 議員

議員 真室川森林鉄道は戦前から戦後にかけて町の林業振興に大きな役割を果たした。当時と同型の機関車は現在、梅里苑において動態保存され、平成21年には経産省により「地域活性化に役立つ近代化産業遺産」に認定されている。森林鉄道の遺産は他にも高坂ダム下流左岸他のトンネル跡、石垣などを含んだ路盤跡等が残されている。

町長 森林トロッコ列車以外の線路やトンネルなどの遺構については、東北森林管理局の管理となっているが、そのほとんどは当時から手つかずの状態であり、危険箇所も多いため、危険箇所も多いため、直接近づくと危険な状況となっている。高坂ダム下流左岸側のトンネルについても長い間出入り口付近の樹木の伐採などの手入れがないか。

なされておらず、対岸から遺構を確認するのが難しい状況にあり、また傾斜地であるため整備、維持管理を行うには危険を伴う場所にある。駐車スペースや展望スペースの確保も難しく、誘客につなげることは困難だ。



森林トロッコ列車

その他の質問

PCR検査の補助と体制の拡充を 町長 感染状況によっては最上保健所等と連携・調整しながら検査を受けやすい体制づくりを進める

誰もが安心して利用できる公共交通網の整備について

町長

暮らしやすさを実感できるように利用しやすく運行する



姉崎 園子 議員

議員 デマンドタクシーの利用料金の見直し、町民への周知は。町長 乗合デマンドタクシーは、路線バスを運行していない町内13地区を対象に平成26年10月から運行を開始し、平成31年4月には、利用地区を町内全域に拡大し、令和2年度からは往路2便、復路3便に増便している。料金についても、平成30年4月から一律500円

に値下げし、ワンコインで利用できるような正している。路線バスの料金については、平成18年4月から保育所への通所料金を無料とし、21年に開所したこども園も同様としている。22年より料金体系を改正し、全路線の料金を一律200円、1か月の定期券を2000円にしている。現行のタクシー料金は、初乗りが700円で1.5キロメートルを超えると272メートル毎に90円ずつ加算されるため決して高い料金設定ではないと考えている。広報紙、区長回覧、町

ホームページなどにより定期的にお知らせするとともに、運転免許の自主返納手続きに案内された場合などでも路線バスや乗合デマンドタクシー利用の周知を図っていく。議員 県立新庄病院まで乗合デマンドタクシーの利用も視野に入れ検討すべきでは。町長 乗合デマンドタ

第6次総合計画における農業振興の推進状況と課題について

町長

国や県と連携しながら農業分野でのデジタル化を推進して行く



小松 健弥 議員

議員 「第6次総合計画」について、少子高齢化や農業就業人口減少の中、世間的には急速にデジタル化が進む現状をふまえ、計画が確実に実行され、結果に結びつくよう資料中の基本目標である農業の振興について、5点伺う。①施策項目のロードマップはあるのか。②計画に対する進捗管理は重要業績評価指標

(KPI)を設定しているが、すべての項目が管理され、また年度毎の進捗管理か。③農林水産省が示す「農業DX構想」など最新情報は適宜確認し、町総合計画に反映される仕組みなのか。④産業のデジタル化とともに行政サイドのデジタル化の取組みは。⑤町総合計画実現に向け、特にデジタル化など職員の力量アップや人材補強も必要と思われるが、研修や人材補強などの計画はあるのか。

併する。基本計画の政策に基づく44施策すべてに年度毎のKPIを設定しており、その数値の推移がロードマップの役割を果たす。毎年度事業の実施状況や達成度を評価したうえで進捗管理を行い、各種施策を効果的・効率的に展開していく。③は町総合計画の推進にあたり、国や県、近隣市町村との連携は欠かせず、農林水産省の示す「農業DX構想」など国や県の最新情報を適宜確認し、関係各所と連携しつつ「スマート農業」などを推進していく。④は産業に係るデジタル化の主なものとして、「農地管理システム」や「森林管理システム」などを用い業務の効率化を図つ

乗合デマンドタクシーの利用について
乗合デマンドタクシーとは
乗合デマンドタクシーは、自宅から目的地(目的地から自宅)まで事前予約があった場合のみ運行します。複数の予約者がいる場合は、乗り合いの利用となります。

お問合せ先
真室川町町民課 生活環境係
☎62-2054(内線238)



交流人口の更なる拡大について

町長

雪に親しみ楽しめる様な事業を進める



舟生 源氏 議員

議員 ホワイトアスロンに次ぐ冬期催し物としてスノーモービル大会を開催し交流人口の増加を図ってみたいかがか。

町長 豪雪地帯である本町では「雪は邪魔なもの」というイメージがあったが、この豪雪を活用して平成27年度からホワイトアスロンを開催した経過がある。踏み侷など、かつて使われていた雪具を使



スノーモービルの交流風景

いる。スノーモービルを活用したイベントについて梅里苑指定管理者や雪遊会とも相談しながら多くの方が雪に親しみ楽しめる事業を進めたいと考える。

ある。排雪場所に集積された汚れた雪を観光資源として扱うのは難しい状態である。夏期イベントとして雪を活用するには、綺麗な雪を集積する作業や、集積した雪を夏期まで長期間保管する新たな施設が必要となり、費用の観点から現時点では困難であると考え

新田町政2期目への決意は

町長

「生きがいを感じ 幸せを感じるまち 真室川」実現に全力を尽くす



佐藤 正 議員

議員 今定例会が新田町政1期目の最後の定例会となる。1期目の町政運営について、どのように総括しているか。また町長は、3月定例会では「住んでよかった、生きがいを感じ、幸せを感じてもらえる、そういった町づくり

に暮らせるまちづくりにも力を入れてきた。水田の基盤整備の加速、林道整備や高性能林業機械の導入支援といった産業活性化策、インフラ整備、災害対応などに取り組み、就任時に感じていた閉塞感、停滞感から脱却し、住みよいまちづくりに向け一定の土台が出来たと考えている。

している。改めて2期目続投への決意を聞きたい。町長 今日まで一貫して「暖かく元気な笑顔あふれる町づくり」を目指し、町民の幸せ、真室川町発展のために全力を尽くしてきた。町づくりの主役は町民の皆さん。地区座談会でご意見を伺い、いただいたご意見はできる限り政策や事業に反映してきた。特に子育て世代が子育てしやすい環境の整備と、子どもたちの郷土愛の醸成に力を入れてきた。高齢化が進む中、高齢者が安心して暮らせるまちづくり

請願

新型コロナウイルス禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める請願

【提出者】

農民運動山形県連合会

会長

小林 茂樹

【紹介議員】

【結果】一部採択

平野 勝澄

米の需給調整に関する請願

【提出者】

もがみ中央農業協同組合

代表理事組合長

安食 賢一ほか

【紹介議員】

【結果】採択※意見書として関係大臣に提出

【提出先】

衆・参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣

陳情

案件がありませんでした。

議員発議

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財源の充実を求める意見書

【提出者】

佐藤 正 議員

【結果】可決

【提出先】

衆・参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、経済産業大臣ほか

豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関する意見書

【提出者】

【結果】可決

【提出先】

菅原 道雄 議員
衆・参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣ほか

議会のうごき

令和3年8月~10月

- 8月27日(金) 町都市計画審議会
6日(金) 最上地区広域連合議会全員協議会
23日(月) 町議会議員協議会、議員研修会
30日(月) 最上市町村議会議長会臨時総会
9月2日(木) 議会運営委員会、全員協議会
8日(水) 県関係国会議員との懇談会
9日(木)~15日(水) 町議会第3回定例会
27日(月) 最上地方町村議会議長会臨時総会
30日(木) 最上県勢懇話会
10月5日(火) 最上広域市町村圏事務組合議会運営委員会
12日(火) 最上広域市町村圏事務組合議会定例会
19日(火) 最上地区広域連合議会運営委員会、同全員協議会
20日(水) 町村議会議員研修
22日(金) 町議会議員協議会
27日(水) 最上地区広域連合議会定例会

中止・自粛の日程

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)

- 中止・自粛等の日程
町議会議長全国大会
全国町村議会広報研修
3県町村議会議長会合同中央研修会
3地方町村議会議長会合同研修会
2地方町村議会議長会合同研修会
最上市町村議会議長・事務局長合同会議
最上市町村議会議員研修

○議会広報常任委員会の開催 (9/24、10/4、10/11、10/15、10/18)

町内所管 事務調査

総務文教常任委員会

7月5日、8日

(所管する課)

総務課・企画課
町民課・会計室
教育委員会

(調査した箇所、評価
及び指摘事項)

※抜粋要約して掲載

○マイナンバーカードの取得状況について
行政を効率化し、国民の利便性を高めるための制度であり、交付率向上に向け取組まれている。

○今後も写真無料撮影サービスや公民館、事業所等にて出張申請受付を継続実施し、普及啓蒙に努められたい。

○真室川あさひ小学校の経営概要について
・新聞ノートを活用し、児童が興味のある記事に対し感想を綴るなどの探求型学習の推進に努めている。また、児童と向き合う時間を増やすため、通知表の様式見直しなど作成負担



消防栓の点検作業

成準備、貯水槽の台帳や施設維持管理など適正に実施されている。
・今後も貯水槽及び消火栓等の更新や新規設置の際には、地元と十分協議し対応されたい。

軽減を進め、教職員の働き方改革も取り組まれている。
・今後も童唄や昔語り、クラブ活動などは継続し、伝承文化とのつながりを大切にしながら、並びにICT教育の推進を実践されたい。

○まむろ川温泉梅里苑の運営状況について
・指定管理による運営を開始するも、新型コロナウイルスに感染症に係る営業自粛要請や県境をまたぐ移動の自粛等に伴い、大変厳しい経営環境であるが、協定に基づき協議を行い丁寧に対応すること。

・コロナ感染症が収束後は、指定管理者の創意工夫が発揮できるような新しい事業に積極的に取組まれたい。

○真室川中学校の経営概要について
・本物教室、ふるさと学習、町への提言など素晴らしい取り組みについて評価し、なお一層の充実を期待する。
・ICTの活用については、教職員の負担を軽減し教育に集中でき



ICTを活用した授業の様子

○公営塾の運営状況について
・公営塾を学校と連携して開講し、児童生徒個々の学びに応じた学習をサポートすることを掲げ、英検受験と算数・数学能力の向上に特化した公営塾の運営を行っている。

・公営塾の家庭の経費負担は、受講料は無料で教材費(テキスト代)のみの負担であり、十分に周知しながら受講生を増やしていくよう努められたい。

○町立安楽城保育所の経営概要について
・里山の自然や畑の野菜など、地域の特性を活かした取組みを評価する。
・今後も子どもの安全対策に十分に留意され、地域や家庭と連携した独自性のある保育を継続されたい。

産業福祉常任委員会

7月1日、2日

(所管する課)

建設課・農林課
福祉課

町立真室川病院
(調査した箇所、評価
及び指摘事項)

※抜粋要約して掲載

○町道整備事業(新及位中ノ股線道路改良事業)

・辺地総合計画の進歩管理に合わせて定期的に事業計画を見直し、可能な限り早期に完成するよう努められたい。

○社会資本整備交付金事業(詰田沢下小又線雪崩防護柵設置事業)

・日々の道路パトロールや除雪オペレーター等との情報共有を丁寧に行い、当該施設が必



雪崩防護柵

要と考えられる箇所に引き続き早急に対策を講じること。

○社会資本整備交付金事業(真室川公園整備事業)



整備の進む真室川公園

・通称「梅の里公園」の名のとおり、シンボルである梅をコンセプトとした施設となるよう工夫すること。

○林産物等の生産状況(株式会社庄司製材所)
・仕入れ全体に占める町内産木材の割合が、約50%を占めることについては評価できる。

・今後も、町内産木材の消費拡大に向け、林産業の支援に努められたい。

○もがみ中央農協真室川支店の農産物販売状況

・農産物の降ひょう被害への対応について、今後の出荷状況等を見ながら漏れのないよう支援等を考えること。
・今後も降ひょう被害等の自然災害に対応するため、収入保険の加入者を増やす施策を検討すること。

○元氣な農業創生事業
・事業については評価できるが、市町村をまたぐ整備を行う場合、一団の農地であっても当該農地が所在する市町村役場によって事業採択の条件に違いがあるため、近隣市町村で連携を取って同様の助成が受けられるように調整すること。

○農業次世代人材投資事業
・農業経営を軌道に乗せ他の模範となつて頑張っていたいただき、後に

○第8期介護保険事業計画
・基本目標の達成に向け各種事業が円滑に進むように、また、次期計画で保険料が増額することのないよう計画の進捗管理を丁寧に行い必要に応じた対策を講じること。



収穫に取り組む新規就農者

続く新規就農者が増加するようにきめ細やかな指導と支援を行うこと。

○新型コロナウイルスワクチン接種の状況
・ワクチン接種が計画通りに進んでいることは評価する。64歳以下の方々への接種についても円滑に進められたい。

○町立真室川病院の経営状況
・一般会計繰入金について、できるだけ少なくなるよう努められたい。
・医師の年齢も上がっていることから、若い医師の確保も考えていくこと。
・最上地域北部の拠点医療施設であることから、病床数の維持に努められたい。

・介護予防対策の一層の充実を図り、町民の健康保持に努めること。

・接種券を送付しても返信のない方々については、接種率を上げられるように丁寧に対応すること。

初の議会中継を終えて

町議会史上初めて、本会議の生中継を配信しました。数人の方から感想をいただきました。「思ったよりがんばっている」「健康上の理由で」これまで傍聴に行けなかったが、見れるようになってよかった」「仕事をしながらでも聞けるのは有りがたい」など、概ね好評でした。そのなかで、「委員会の生中継はいつから?」との質問もいただきました。当面、生中継は本会議のみ、録画配信は本会議と委員会として試行を重ねることにしています。

私見ですが、本来は、モタモタしたり格好悪い場面、不適切な発言もすべて公開し、議員や町政を評価していただき、次の選挙の判断材料にしてもらうべき、と思います(国会や、一部の自治体ではそうしています)。一方で、議論の中身をこそ見ていただくべきで、不用意な言葉や雑多な場面は編集した方がいい、との思いもあります。

いずれにせよ、今後も議会と執行部が協議しながら、より良い中継の在り方を探ってまいります。ぜひ、忌憚のないご意見をお寄せください。

(議会広報常任委員長 平野勝澄)



議会中継や、過去の本会議議事録は町ホームページでご覧いただけます。

URL

<https://www.town.mamurogawa.yamagata.jp/category/bunya/gikai/>



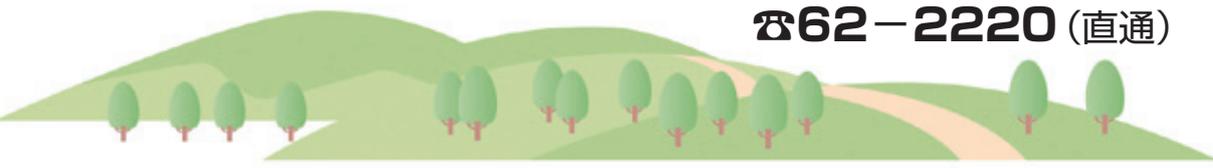
お問い合わせは

議会事務局まで

☎62-2220 (直通)

傍聴お待ちしております

● 次回の
定例会は **12月**です



編集を終えて

9月定例会は決算議会であり、令和2年度の予算が適正に執行されているかを審査し、認定をいたしました。

また、今議会よりインターネット配信を開始しております。議会だよりは内容の重要な部分を抜粋してまとめてありますが、是非、その詳細を町のホームページ「真室川町議会」のバナーから議会の録画映像でご視聴いただきたいと思います。町のホームページには様々な情報が揭示されており、併せて閲覧をお願いいたします。

新型コロナウイルスの流行も第5波が落ち着き、第6波の到来が懸念されますが、引き続き町民皆様におかれましては、手指消毒やマスク着用など感染対策を励行され、健やかに日々をお過ごしください。

(小松 健弥)

議会広報常任委員会

委員	委員	委員	副委員長	委員長
園子	氏	弥	弘	勝澄
崎園	生源	小松	小松	平野
姉崎	舟生	小松	小松	野勝